

総務消防委員会行政視察報告

視察第2日 岡山県奈義町 2023年5月16日(火)

●視察先・視察項目

奈義町役場 及び なぎチャイルドホーム 「少子化対策、子育て応援宣言について」

奈義町の概要

- ・奈義町は岡山県東北部に位置し、北に国定公園那岐山（標高 1,255m）、滝山（標高 1,197m）の連山の分水嶺を境として鳥取県智頭町と接している。
- ・昭和30年2月 3村合併により奈義町が誕生した。
- ・主な産業は、林業、農業であり、東山工業団地がある。
- ・特色 自衛隊 日本原駐屯地・日本原演習場がある。
(14.66km²、うち11.94km²は奈義町の部分)

○人口：5,751人

○世帯数：2,533世帯

○面積：69.52km² (2023年3月1日現在)

1 視察目的

『合計特殊出生率2.81の軌跡のまち』とマスコミなどで紹介された岡山県奈義町の「人口減少対策」について視察。「若者定住施策」「就労対策」「独自の子育て支援策」等の取組やその財源、出生率向上以後の子供達の進路状況、移住定住の状況について施策を確認する。令和5年2月岸田総理、小倉子ども政策担当大臣が訪問され少子化対策実現のまちとして取り組み状況視察をされており、成果も合わせて確認し、本市の人口減少対策の参考とすることを視察目的とした。

2 視察内容

〔対応者〕 こども・長寿課：小坂副参事

平成24年 子育て応援宣言

令和元年 合計特殊出生率2.95達成 NHKにて報道

子育て支援

- ・奈義町子育て宣言平成24年
- ・子育てするなら奈義町で
- ・子どもたちが夢と希望を持てる町づくりを目指して

支援施策

- ・経済的支援の主な例
- ・町民の気持ちに寄り添った経済支援
- ・保育料が国基準の約半額 さらに第2子はその半分 第3子以降は無料
- ・小中学校の給食費の半額を町で負担
- ・小中学校の教材費を無料化
- ・高校生までの医療費無料
- ・大学生に町独自の奨学育英金 卒業後に町への定住で全額返済免除
- ・特定不妊治療を受けた方に県の助成を引いた額の二分の一以内で年額20万円を助成
- ・在宅育児をする保護者に毎月15,000円の支援
- ・高校生への就学支援として年額240,000円の支援金
- ・中学3年生までの子供を育てる 一人親に年額5万4千円を支給 第2子以降は1人2万7千円加算

企業誘致

- ・東山工業団地 19区画
用地はすべて完売した



3 所感

町独自の子育て支援事業が多く感じた。今後も現在の人口を維持するために、若い人が定住できるように、いろいろな支援事業が行われている。

首長の発案に町民も共鳴し、合計特殊出生率2,95が達成できたものと思う。行政、議会、町民が一体となった協働のまちづくりの成果と感心した。

閉園となっていた保育園を先生方と地域住民の協力で、大人と子供のふれあい交流の場として利用し、体験と地域のつながりを育て、新しい文化や伝統がつくられていた。(なぎチャイルドホーム)

奈義町の子育て支援は、親たちや周囲から安心感を持たれ、高い出生率として、成果、結果を挙げている。

奈義町の高い合計特殊出生率のポイントは、安心感との説明もあり、印象的でした。そのためには、住居や子育て負担の軽減、町の人々が子育てを応援、など安心が大事であると語られています。

限られた財源の中、いろいろなものから、あれとこれと、目的を絞りこみ、勇気と決断を下す、資源、財源投資の選択と集中が問われるところである。



奈義町 山の駅